

第1術科学学校

第1砲術講堂の歴史

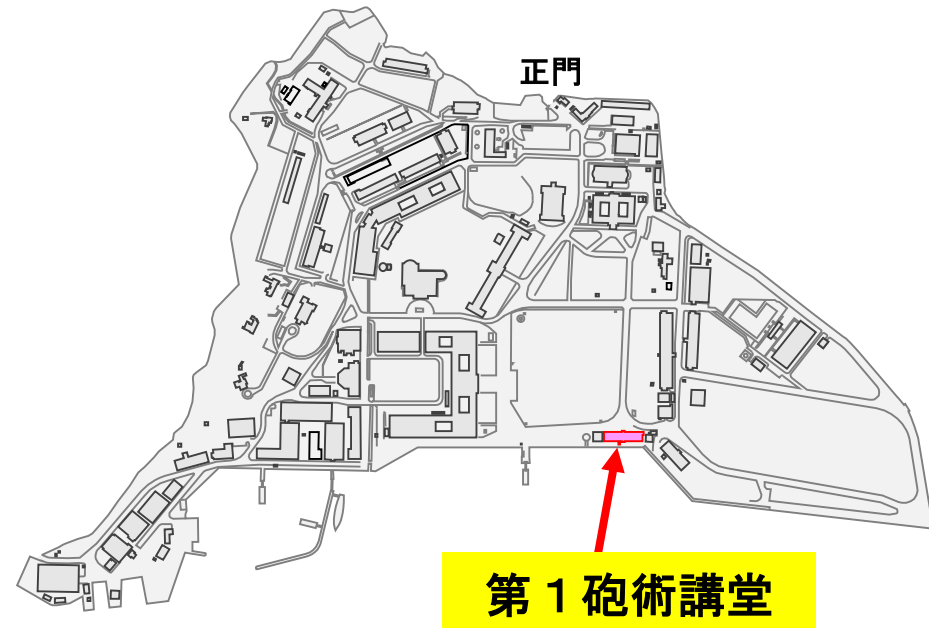
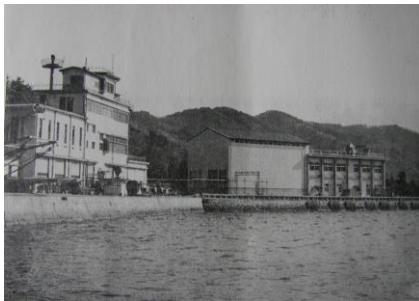
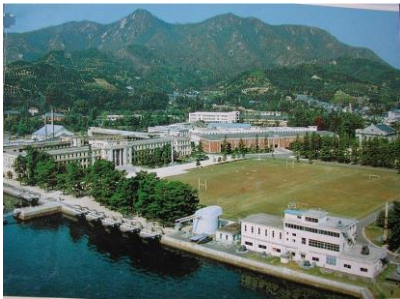


第1術科学学校 教育第1部 砲術科

第1術科学校 第1砲術講堂の解体

「第1術科学校 第1砲術講堂」が、令和6年度に解体されることとなりました。

昭和10年以降、多く海上自衛隊の射撃関係員を教育してきた「第1砲術講堂」について、紹介していきます。



第1砲術講堂の歴史

明治21年 8月 海軍兵学校東京築地から江田島に移転
昭和10年 戦艦「陸奥」砲塔 改装時に寄贈※1
昭和10年 2月 砲術講堂完成（1砲講）※2

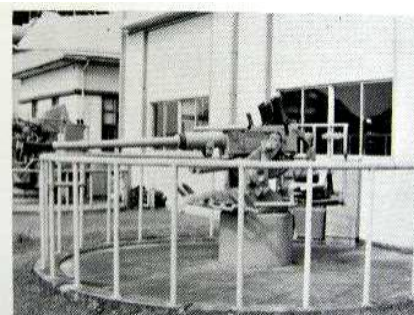
昭和11年10月 天皇行幸行事
行幸行事の写真は次ページ

昭和26年 4月 米陸軍特科学学校設置（～昭和30年8月）
昭和31年 1月 米軍から返還、術科学学校が江田島へ移転

米軍の教材（50口径3インチ砲、40ミリ単装機関砲、40ミリ連装機関砲、ガナリートレーナー）をそのまま使用



50口径3インチ砲



40ミリ単装機関砲



40ミリ連装機関砲



ガナリートレーナー

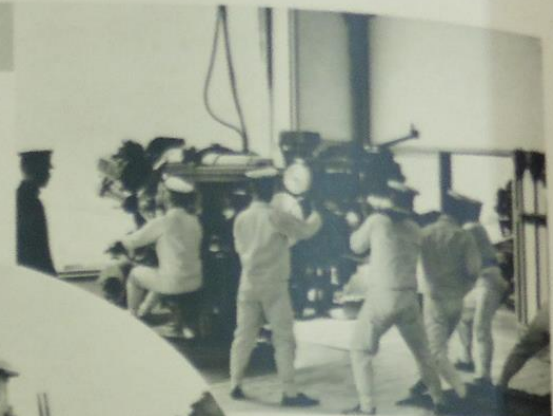
第1 砲術講堂の歴史

天皇行幸行事

(練教臺砲) 業作覽天徒生



(三ノ其) 法操砲艦



(一ノ其) 法操砲艦



景全護砲



標指撃射



(二ノ其) 法操砲艦

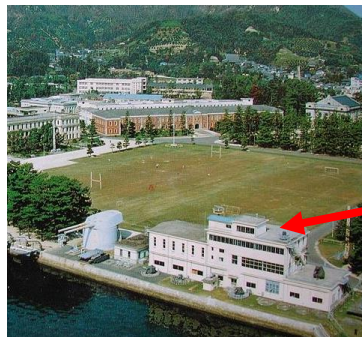
昭和32年

12. 7ミリ単装高角砲及び 射撃指揮装置MK63設置

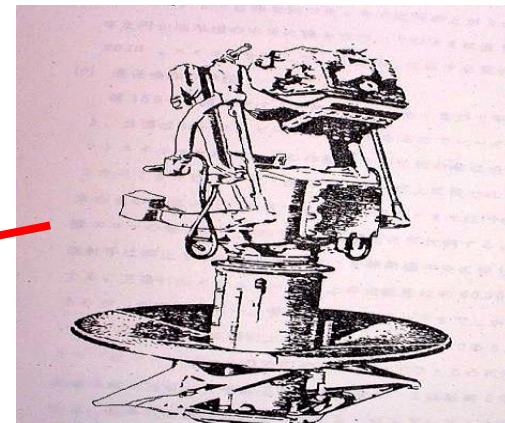


12. 7ミリ単装高角砲

現在も歴史資料として存在



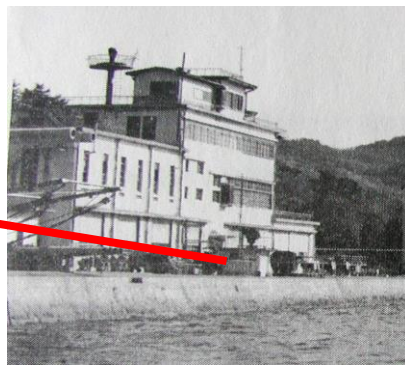
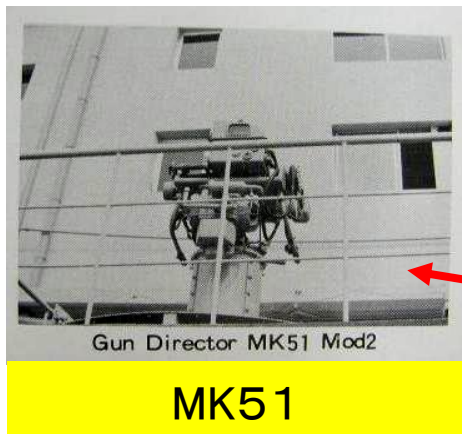
砲術講堂 屋上に設置



射撃指揮装置MK63

昭和33年 4月 第1術科学校と改称

砲術講堂海側で射撃指揮装置MK51と
40mm砲の操法訓練開始



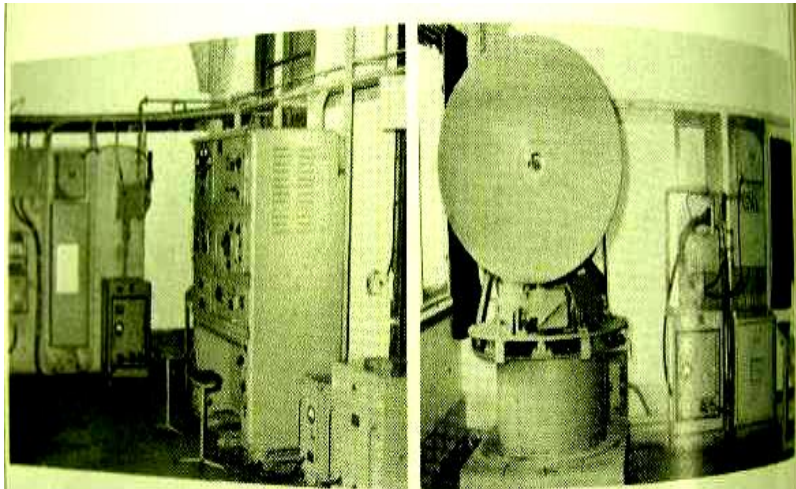
当時の教材



MK37方位盤納入前に使用
していた2.5米(マイル)測距儀



MK37方位盤
(昭和52年撤去時)



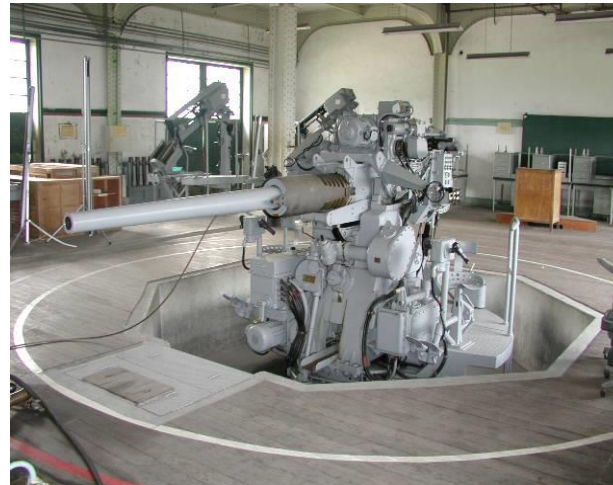
SPG-34レーダー
砲術講堂3F(MK63講堂内)

昭和38年 3月 50口径3インチ砲装填演習砲（1号機）
納入



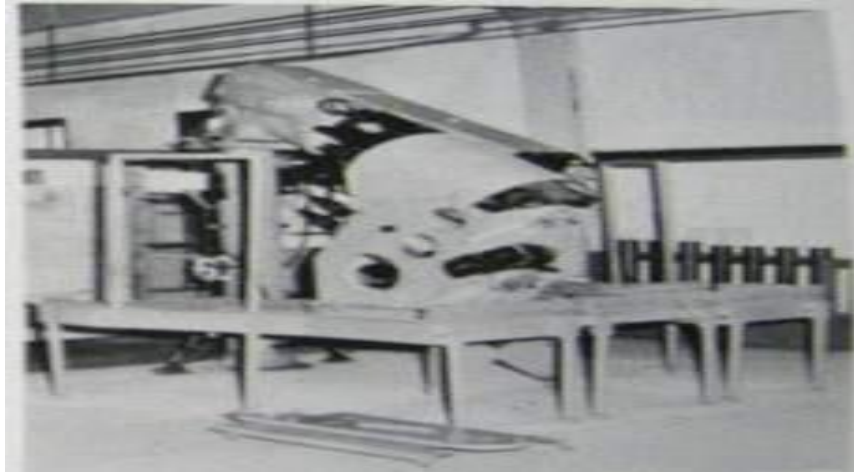
50口径3インチ砲装填演習砲(1号機)

昭和39年 6月 50口径3インチ砲納入



50口径3インチ砲

昭和38年 3月 50口径3インチ砲装填演習砲（2号機）
納入



50口径3インチ砲装填演習砲(2号機)

昭和48年 3月 第2砲術講堂完成にともない、「砲術講
堂」から「第1砲術講堂」となる。



第2砲術講堂

昭和54年 3月 1砲講横に50口径3インチ連装速射砲
(むらくも32番砲) 設置



3インチ連装速射砲

昭和55年 9月 50口径3インチ砲装填演習砲 (3号機)
納入



50口径3インチ砲装填演習砲(3号機)

昭和61年 4月 第3砲術講堂完成



第3砲術講堂

令和5年 7月 最後の3インチ装填演習砲を返納



返納した3インチ装填演習砲

第 1 砲術講堂を使用した課程

1 幹部課程

- (1) 甲種高等科砲術 (水上班) : S 2 8 ~ S 3 1
- (2) 甲種普通科 : S 2 8 ~ S 3 2
- (3) 高等科射撃 : S 3 1 ~ S 3 5
- (4) 幹部一般・専門射撃 : S 3 5 ~ S 4 0
- (5) 任務砲術 : S 3 2 ~ S 3 3
- (6) 任務射撃 : S 3 3 ~
- (7) 中級射撃 : S 4 1 ~

2 海曹課程

- (1) 乙種高等科掌砲：S 2 8 ~ S 3 1
- (2) 乙種高等科要務：S 2 8 ~ S 3 2
- (3) 高等科射擊：S 3 1 ~ S 6 3
- (4) 高等科射管：S 3 1 ~ S 6 3
- (5) 海曹射擊：S 6 3 ~

3 海士課程

- (1) 乙種普通科掌砲：S 2 8 ~ S 3 1
- (2) 乙種普通科要務：S 2 8 ~ S 3 2
- (3) 普通科射擊：S 3 1 ~ S 6 3
- (4) 普通科射管：S 3 1 ~ S 6 3
- (5) 海士射擊：S 6 3 ~

4 特別講習

- (1) MK 5 6 : S 4 1 ~ S 4 2
- (2) 5 インチ : S 4 1 ~ S 4 7
- (3) 射撃幹部 (5 インチ / MK 5 6)
: S 3 1 ~ S 4 2

5 専修科

- (1) MK 5 6 : S 4 3 ~ S 5 9
- (2) 3 インチ : S 4 0 ~ H 3
- (3) MK 3 7 : S 4 3 ~ S 4 4

第1砲術講堂の内部写真

1F 3インチ講堂及び実習場



写真下段は40mm砲及び装填訓練機であり、平成17年5月実機搭載の最終番艦（輸送艦ねむろ）の退役にともない、教務も停止、以後返納（撤去）

2F 机上射撃講堂及び照準訓練室



写真下段は演習部（左）、指導部（右）の訓練風景である。撮影時期は不明であるが、多くの人員がいて活気があった。

3F 教官室



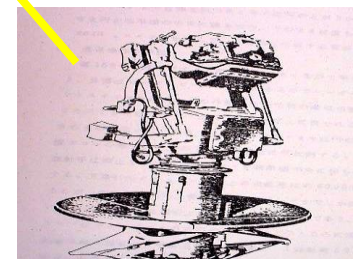
砲術講堂（1 砲講）完成時から 2 砲講が完成し移転するまでの間、教官室として使用していたが、冷房設備がないため学生指導は、夏の蒸し暑さとの戦いの場でもあった。

4F MK63(SPG34レーダ)実習講堂



講堂を射撃管制室に見立て、暗室にして訓練に臨んでいた。また、隣室は電子機器の修理等を行う教務講堂も備えられていた。

5F 屋上及び管制部屋



上段赤丸は3インチ単装砲がありMK 6 3と連動し、射撃員・射管員・射撃指揮官の連合操法訓練が可能であった。上段黄丸はMK 6 3方位盤が設置されていた場所である。

下段は「実目標照準訓練」「対空射撃指揮法」の際、岩国航空隊PS-1を管制した航空管制室であり、遠泳訓練時は総指揮所として活躍した。

第 1 砲術講堂解体の様子

多くの学生を輩出し、海上自衛隊の射撃術科を支えてきた第 1 砲術講堂は、令和 6 年度から解体されます。

解体の様子は今後 H P にアップしていきます。